

令和4年9月熊取町議会定例会 請願文書表

請願第1号	ギャンブル等依存症の実態調査等を求める請願書
受理番号	4熊議第103号
受理年月日	令和4年8月23日
請願の要旨	<p>(1) 町は、自治体の本旨にもとづき、町民のギャンブル等依存症について信頼性が高い実態調査を率先して、実施し、依存症克服の目標と計画を明示してください。そして、大阪府と国から支援を受けて、依存症克服の対策を推進してください。</p> <p>(2) 町は、大阪府が府下43自治体と連携・支援し、府下全体で実態調査を実施して、依存症克服の目標と計画を明示して、推進するよう大阪府に要望してください。</p> <p>(3) 町は、国が大阪府の申請しているカジノを中核とする夢洲IR計画の問題点を検証し、府民の疑問に答えるよう審査し、検証と審査の内容を公表すること、また形式的な審査により安易に承認しないことを国に要望してください。</p>
請願者の住所及び氏名	熊取町大久保南5-1-23 大浦 正義 ほか14名
紹介議員氏名	坂上 巳生男 江川 慶子 鱧谷 陽子 文野 慎治
付託委員会	事業厚生常任委員会



2022年8月23日

熊取町議会 二見 裕子 議長

## ギャンブル等依存症の実態調査等を求める請願

請願代表者：大浦 正義 他 14名

熊取町大久保南5-1-23

### 【請願の要旨】

1. 町は、自治体の本旨にもとづき、町民のギャンブル等依存症について信頼性が高い実態調査を率先して、実施し、依存症克服の目標と計画を明示してください。そして、大阪府と国から支援を受けて、依存症克服の対策を推進してください。
2. 町は、大阪府が府下43自治体と連携・支援し、府下全体で実態調査を実施して、依存症克服の目標と計画を明示して、推進するよう大阪府に要望してください。
3. 町は、国が大阪府の申請しているカジノを中核とする夢洲IR計画の問題点を検証し、府民の疑問に答えるよう審査し、検証と審査の内容を公表すること、また形式的な審査により安易に承認しないことを国に要望してください。

### 【請願の理由】

- (1) コロナ禍前の2019年12月公表されたIR基本構想は、2021年12月末公表のIR区域整備計画と2022年2月に大阪IR(株)と締結したIR基本協定とで大きく変化しました。整備計画の多くの数値目標の現実性と合理性に疑問があります。(IR基本協定は概要のみ公表)  
基本構想ではIR全体の利用者数のうちカジノ利用者数は約23%でしたが、整備計画では81%に増え、収入のターゲットが外国人富裕層6割から日本人7割に逆転しました。また、IRの経済効果を過大評価する一方で、カジノ利用者の2% (約20万人) が依存症になると認識しながら、カジノのマイナス経済効果や家庭崩壊、犯罪増大等の社会的な悪影響を調査・評価しなかったのは大問題です。府民はIR推進前に府が43自治体と共に現下のギャンブル等依存症22万人の実態調査と克服の目標と計画の明示、及び顕著な実績を求めています。
- (2) 大阪府知事・大阪市長のIR区域整備計画の公表時期が遅く、現下の依存症と向き合わず、必要な調査と情報提供が少ないため、整備計画に府民的な住民合意はありません。知事・市長・IR推進局の説明が不十分で、2022年1月からの公聴会は72市区町村で4ヶ所だけ、3月議会の審議も浅く、7月29日の臨時府議会も請求者の意見陳述は30分、審議は数時間で終わりました。知事は、代議制民主主義の弱点を補う直接民主主義の発揮を求める約20万筆の軽視と大阪IRを推進する意思を表明しました。国は府の申請の安易な承認を控えるべきです。
- (3) 「夢洲」は産業廃棄物等の捨て場・埋立地です。商業用地ではないためIRの豪華な恒久施設には不適合です。また吉村知事と松井市長の「公金投入はしない」との公言を翻して、大阪IR(株)が負担すべき土壌改良費用などに790億円の公金投入を約束しました。これは「呼び水」であり、基本構想にはなかった一私企業への夢洲IR・商業施設の地盤沈下や災害の対策に恒久的な公金投入は問題です。公金は府民の防災・減災やコロナ対策、医療・介護、教育、依存症対策等、住民福祉の拡充に優先的に充当してください。

以 上